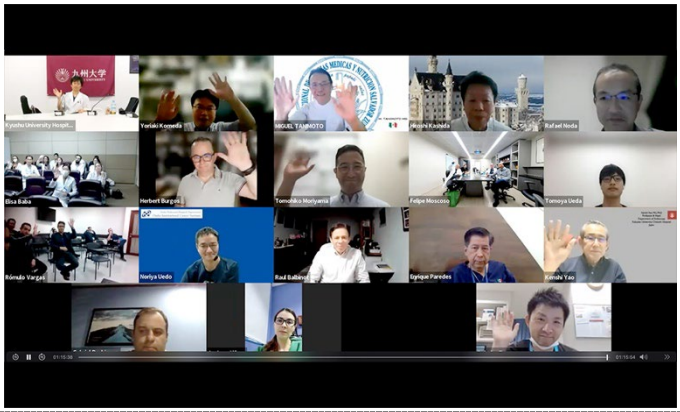
#1751

2023.07.13

第30回 ラテンアメリカテレカンファレンス

【参　加　施　設】	【概　要】
九州大学病院（日本），アレマナ病院（チリ），チリ国立がんセンター（チリ），コスタ・リカ大学（コスタリカ），コスタリカガストロクリニカ（コスタリカ），ボゴタ・ザビエル大学（コロンビア），パブロ・トボン・ウリベ病院（コロンビア），メキシコ国立医学・栄養センター（メキシコ），シャープマサトラン病院（メキシコ），メキシコ消化器病センター ガルシア・ヒネレスオフィス（メキシコ），サンパウロ大学（ブラジル），ブラジル癌研究所（ブラジル）他 16 施設	今回は近畿大学が腸管症関連T細胞リンパ腫、大阪国際がんセンターが十二指腸の胃型腺腫の症例を提示した。いずれも珍しい症例であったが、美麗な内視鏡写真と詳細に解析された病理画像に基づいて活発な議論と丁寧な解説が行われた。拡大内視鏡所見や病理所見など、以前に比べて議論の内容はより高度化、活性化してきており、本カンファレンスの質が向上してきていることが感じられた。

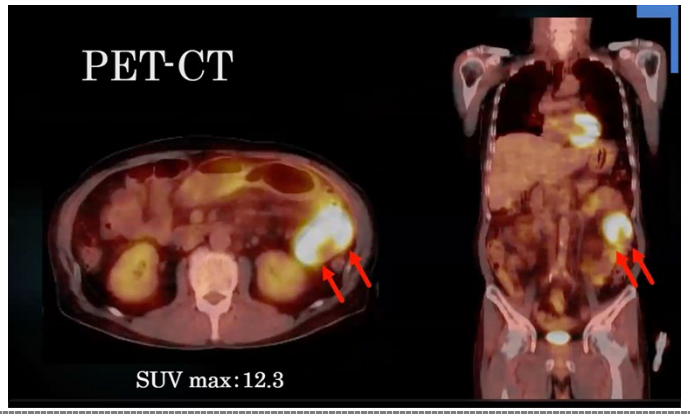


モニタに表示される接続施設

撮影場所：九州大学病院

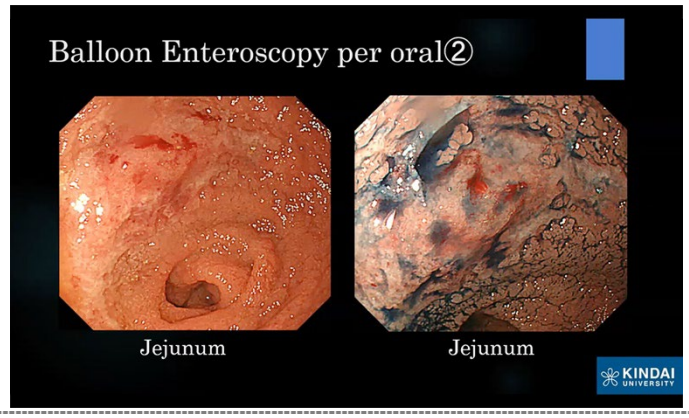
発表するDr.米田

撮影場所：九州大学病院



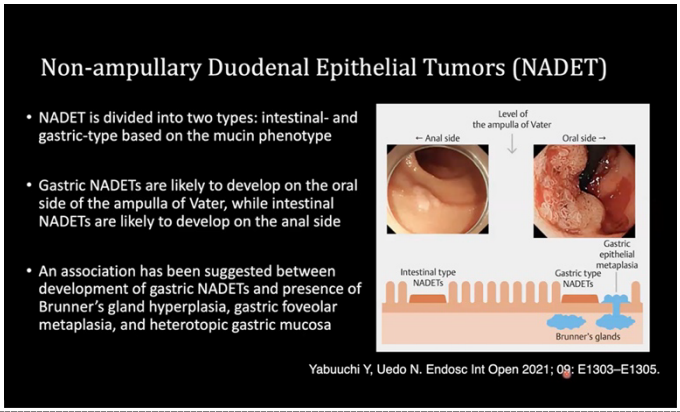
提示されたスライド

撮影場所：九州大学病院



提示されたスライド

撮影場所：九州大学病院



提示されたスライド

撮影場所：九州大学病院

司会を務めるDr.森山

撮影場所：九州大学病院